

予防接種・抗体検査のご案内

【ガーデンシティ健診プラザ・県庁内クリニック】

- 接種歴、期間、渡航地域等で推奨されるワクチンは異なりますのでご相談ください。
- 小学生以下の方は原則として、かかりつけの小児科での接種をおすすめします。
- 抗体検査は、採血料400円が加算されます。

項目	予防接種	抗体検査
インフルエンザ ※期間限定にて実施 (例年、原則10～12月まで)	3,960 円	※上記は2023年度の料金です。 毎年、仕入価格により決定されます。
	インフルエンザの発病を予防することや発病後の重症化を予防することに一定の効果があるとされています。日本では、例年1～3月上旬に流行のピークを迎えるため、12月中旬までに接種を終えることをおすすめします。	
A型肝炎	8,800 円	HA抗体定性 1,650 円
	主に途上国で流行しており、流行地に渡航する前に接種をおすすめします。効果は接種回数で変わるため、医師と相談して接種回数を決定します。	
B型肝炎	7,700 円	HBS抗体 1,430 円 HBS抗原 1,320 円
	主に途上国で流行しており、流行地に渡航する前に接種をおすすめします。また、医療従事者も感染を受けやすいため、接種をおすすめします。効果は約10年間続き、3回接種が原則となります。	
破傷風トキソイド	3,850 円	破傷風を予防するための不活化ワクチンです。 接種により、100%に近い方が十分な抗体を獲得すると報告されています。 効果は約10年続きます。
ジフテリア・破傷風混合 (二種混合)	5,500 円	ジフテリアと破傷風の両方を予防するワクチンです。
百日咳・ジフテリア・ポリオ 破傷風混合 (四種混合)	11,000円	百日咳・ジフテリア・ポリオ・破傷風を予防するワクチンです。
麻疹 (はしか)	7,700 円	HI法 2,453 円 EIA法 3,982 円
	麻疹ウイルスが引き起こす急性の全身感染症を予防するワクチンです。麻疹の感染力は非常に強く、また肺炎や中耳炎等を合併しやすいと言われています。予防のためには、ワクチン接種が最も有効です。	
風疹	7,700 円	HI法 2,453 円 EIA法 3,982 円
	風疹ウイルスが引き起こす発熱、特有な発疹等を予防するワクチンです。また、妊娠20週頃までの妊婦が風疹ウイルスに感染すると、先天性風疹症候群の子どもが生まれることがあります。予防のためには、ワクチン接種が最も有効です。	

予防接種・抗体検査のご案内

【ガーデンシティ健診プラザ・県庁内クリニック】

- 接種歴、期間、渡航地域等で推奨されるワクチンは異なりますのでご相談ください。
- 小学生以下の方は原則として、かかりつけの小児科での接種をおすすめします。
- 抗体検査は、採血料400円が加算されます。

項目		予防接種	抗体検査
MR (麻疹・風疹混合)		11,000 円 麻疹・風疹の両方を予防するワクチンです。	
ポリオ (不活化)		8,800 円 ポリオウイルスにより発生する疾病を予防します。 ポリオが発生している国に渡航する方に接種をおすすめします。	NT法(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) 2,640 円
BCG (結核)		5,500 円 結核を予防するワクチンです。 乳幼児期にBCGを接種することにより、結核の発症や重篤な骨髄膜炎を予防することができると報告されています。	
肺炎球菌 ワクチン	ニューモバックス	8,800 円 肺炎球菌はのどや鼻等から入ることで、肺炎や中耳炎の一因となります。 特に子どもや高齢者は、重症化しやすい傾向にあります。 効果は接種1ヶ月でピークとなり、5年後にピーク時の8割まで低下し、以降も徐々に効果が低下します。 再接種は短期間で行うと副反応が増加するため、5年以上空けることをおすすめします。	
	プレバナー	11,000 円 予防の目的はニューモバックスと同じですが、結合型ワクチンという新しいタイプの肺炎球菌ワクチンで、免疫の反応が良好であることと効果の持続が長いことが特徴です。 2種類の肺炎球菌ワクチンの接種により、より高い予防効果が期待できるとされており、日本の学会や米国では半年から1年以上の間隔を空けて接種することが提示・推奨されています。	
ムンプス (おたふくかぜ)		7,700 円 咳等の飛沫でムンプスウイルスが移り、耳下腺等が腫れます。 成人後の発症は、病状が重い上に治りにくく、合併症の危険もあります。 予防のためには、ワクチン接種が有効です。	EIA法 3,982 円
日本脳炎		6,600 円 主に途上国で流行しており、流行地に渡航する前に接種をおすすめします。 特効薬がないため、予防が重要となります。 その中心は、ワクチン接種と蚊の対策です。	

予防接種・抗体検査のご案内

【ガーデンシティ健診プラザ・県庁内クリニック】

- 接種歴、期間、渡航地域等で推奨されるワクチンは異なりますのでご相談ください。
- 小学生以下の方は原則として、かかりつけの小児科での接種をおすすめします。
- 抗体検査は、採血料400円が加算されます。

項目	予防接種	抗体検査
水痘	11,000 円	EIA法 3,982 円
	<p>水痘ウイルスは非常に感染力が強く、発症すると発熱と全身に強いかゆみを伴う発疹が起こります。</p> <p>1回の接種により重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回目で軽症の水痘も含めて発症を予防できると考えられています。</p>	
髄膜炎ワクチン (メンクアッドフィ)	23,760 円	-
	<p>髄膜炎菌感染症の予防のためのワクチンです。</p>	
狂犬病 (ラビピュール)	15,400 円	-
	<p>狂犬病の流行する地域で、長期滞在や研究等で動物と接触する機会が多い方、奥地等で医療機関をすぐに受診できない方におすすめします。</p> <p>発症した場合の死亡率は高く、ほぼ100%です。3回接種となります。</p>	



公益財団法人
ふくおか公衆衛生推進機構
 Fukuoka Public Health Promotion Organization